



## EBC 夏の講演会及び情報交換会

猛暑が続く8月24日（木）東京都内の赤坂インターシティコンファレンスセンターにてEBC 医療機器・IVD 委員会主催の講演会及び情報交換会が開催されました。

講演会ではドイツ・フランクフルト在住の医療ジャーナリストである吉田恵子様をお招きし、「ドイツの医療保険・償還制度」について講演頂きました。ドイツの公的医療保険制度の特徴、入院医療（G-DRG<sup>1</sup>、追加報酬、NUB<sup>2</sup>等）、外来医療（DiGA<sup>3</sup>のこれまでと今後）に触れ日本の医療制度との違いやプログラム医療機器である DiGA の発展的成長に参加者の方々からさらなる興味を頂きました。また、自民党衆議院議員たばた裕明様にも登壇いただき、「2024年診療報酬改定を見据えて」というタイトルでデジタルヘルスの動向を語っていただきました。議員は自民党の「厚生労働部会の部会長」や、部会の「薬事に関する小委員会」のメンバーでもあり、診療報酬の改定のプロセスや薬機法の改訂にも関わっており、中医協<sup>4</sup>、医療機関や医療機器業界のみならず政府の政治的意図があることについてお話しいただき、さらにデジタルトランスフォーメーションについても課題も含めて講演していただきました。

講演会後は同センター内にて情報交換会を開催し、たばた議員、経産省商務サービスグループ医療・福祉機器産業室長の渡辺様、医薬品医療機器総合機構（PMDA）執行役の高橋様より挨拶の言葉を賜りました。その後は厚生労働省、経産省、PMDA 及び業界団体である医機連<sup>5</sup>、AMDD<sup>6</sup>やオランダ大使館関係者、駐日欧州代表部の方々を交え医療機器業界の様々な話題について語り合い、有意義な時間を共にし、盛況のうちに閉会となりました。来年度は診療報酬改定、薬機法改正が予定されており、委員会としてさらなる活動が求められる数か月になると考えます。欧州の委員会として欧州の企業にとって利益ある結果を目指すこととなります。





以上

- 
- 1 German Diagnosis Related Group
  - 2 Neue Untersuchungs und Behandlungsmethoden : New Examination and Treatment Methods
  - 3 Digitale Gesundheitsanwendungen: Digital Health Applications
  - 4 中央社会保険医療協議会
  - 5 一般社団法人日本医療機器産業連合会
  - 6 一般社団法人米国医療機器・IVD 工業会